

コミュニティ・スクールだより

令和7年7月号

『 地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎 』 「 学び合う子 」
(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

こんな子どもたちに

令和7年度の教育活動が本格的に展開されています。菊西学舎におけるコミュニティ・スクールも学校運営協議会や各校の活動が進められています。
この取組においては学舎の教育目標やめざす子ども像の共通理解が大事になります。

菊西学舎の経営方針

・学舎教育目標

「地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎」

- 胸を張って地域に発信や貢献できる子どもや学校を目指す。
- その姿を地域が誇ってくれるようにしたい。

・目指す子ども像

「学び合う子」

自分を大切にすると共に、相手の良さを認め励まし合う子

自分の考えをもつと共に、自分の言葉で伝え相手の考えを聞く子

チャレンジすると共に、成功体験や失敗体験から学ぶ子

学舎教育目標や目指す子ども像には、上記のような願いが込められています。

この願いの実現や達成に向けて、子どもたちの現状を踏まえ、何をどのようにしていくべきよいか、そこを協議していくのが、学校運営協議会になります。

課題を協議して解決や改善の方策を考えていくと、ともすると学校や教育委員会、家庭など関係機関でこうしてもらえばといった意見が出されがちですが、そこに踏みとどまるのではなく、地域に開かれた、地域と共にある学校に向けて、学校運営協議会委員は自らがどのような関りや取組が可能なのかを話し合い、それを実践・行動にまで結びつけていくことが、大切になります。

現在上記のような理解を得ながら、何をどうしていくべきよいか協議を進めています。第2回学校運営協議会では、「我々（学校運営協議会委員）ができそうな持続可能な取組み」についてグループ協議を行い、各自の意見を付箋に書いて模造紙に貼り、意見の集約や関係性をまとめました。すぐにスムーズな実践・行動にまでつなげることは難しさもありますが、少しづつ歩みを進めていきたいと考えています。



【学びの庭】 両手でしっかりとありました 内田小2年生



地元にある「野菜クラブ」の御厚意で、2年生がトウモロコシの収穫体験をしました。キュウリや大根などの収穫はやったことがあっても、トウモロコシはほとんどの子が初体験でした。

代表の方から収穫方法を教えていただくと、どの子も真剣に耳を傾けていました。おいしいトウモロコシの見分け方や朝どりのトウモロコシが一番おいしいことも教えていただきました。

【学びの庭】 小笠高校生からいただきました 横地小2年生

2年生は小笠高校の生徒と野菜づくりの交流をしています。生徒が育てたジャガイモを2年生が掘らせていただく予定でしたが、雨で中止になりました。そこで、生徒のみなさんが掘ったジャガイモを、2年生に届けてくれました。嬉しいプレゼントに子どもたちは大喜びでした。小笠高校の生徒との交流は、1年間様々な形で行われる予定です。



【学びの庭】 横地小5年生との交流 加茂小5年生



加茂小学校と横地小学校の5年生は、合同で観音山少年自然の家で自然教室を行います。それに向けて、事前に両校の児童の交流会を行いました。自校の紹介をしたりレクリエーションをしたりして、顔や名前がわかり合いました。このような機会が、自然教室そして中学校入学までつながっていってくれることでしょう。



【学びの庭】 ふれあい給食 堀之内小

地域の野菜を使った給食が堀之内小でも出されました。

地元に新鮮でおいしい野菜があることを知り、よく味わっておいしくいただきました。地産地消のよさを感じられました。地域のみなさんありがとうございます。

【学びの庭】 災害へはどんな備えが必要か 菊川西中



菊川市危機管理課の職員をお招きして災害に備えてどのような備えをしておけばよいかを話していただきました。

東南海地震や気候変動による大雨や洪水、土砂災害等様々な災害が心配されています。その際中学生の力は極めて大きいと言えます。災害による被害を最小限にできるよう、日々の備えを大切にしていきたいです。